



さくら

2021 新春

発行
社会福祉法人 東桜会
第 71 号

〒420-0962
静岡市葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

あけましておめでとうございます



1 月 1 日新春の集い・麻機園



「皆さま、明けましておめでとうございます。」と今年も園長より新年の挨拶を頂き、参加している入所者にお屠蘇を配り乾杯しました。ほんの少しの量でも、久しぶりのお酒は嬉しく感じ「やっぱりお酒は美味しいね」「少ないなー。もうちょっと飲みたいよ」と声が聞かれました。

乾杯の後は、年女の方に今年の抱負を述べてもらいました。事前に作成した絵馬に抱負を書いて頂き、各々の願いごとを皆様に披露して拍手をいただきました。

その後、今年用意したアトラクションの福笑いは、干支のうし、おかめ、恵比寿様の 3 種類。参加者はそれぞれ紅白に分かれ、目隠しをして福笑いを行う入所者に、同じチームの方々がそれぞれの目や鼻などの位置を「あ！もっと上」「右だよ、もうちょっと左だよ」と声を掛け合い協力しあって楽しく笑いあって福笑いを完成しました。

このように、年女の方々が願った皆さまの健康と共に、新春の集いで福笑いを行った時のように皆さまが笑顔で楽しく過ごせる一年になるように願っています。



麻機園 寮母 高久愛

☆クリスマスに正月と☆ ケアハウス「桜花」



平年より暖かく始まった冬も 12 月半ばから寒さを増し、新型コロナウイルスの影響で様々な行事が縮小されている中、クリスマスの雰囲気を楽しもうとクリスマス喫茶を開催しました。

会場の 2 階食堂にはクリスマスソングが流れ、テーブルにはイチゴが乗ったショートケーキ。最近入居したばかりの A 様は、「ケーキなんて食べるの久しぶりよ。」と笑顔で話してくれました。それから 1 週間経てばもうお正月。クリスマスツリーから正月飾りに模様替えされて、お節料理とお雑煮をいただきました。穏やかな天気の日、恒例の「福笑い」で遊び「もっと右、それは鼻だよ」と声を掛け合い、出来上がった滑稽な顔立ちに皆さんで「初笑い」しました。

「クリスマスに正月と、1 年経つのは本当に早いね」と年末年始を振り返りましたが、今年も安全で健康に過ごせる年にしましょうね。



ケアハウス桜花 生活相談員 佐藤勝洋

デイサービス通信 ～我らの人生これからだ～

クリスマスバイキング&トナカイのプチケーキ作りを行いました。

12月24日(木)クリスマスバイキングを行いました。サンドイッチやミートローフ、クラムチャウダー等クリスマスメニューを楽しみました。みなさん「美味しいよ」と、おかわりしてたくさん食べて下さいました。今年はコロナウイルス感染予防のため、食事中のおしゃべりを控え静かなバイキングでした。来年は、またにぎやかなバイキングができるように、感染症の早期終息を願い、予防対策を徹底していきましょう。

12月25日(金)はトナカイのプチケーキ作りを行いました。みなさんそれぞれシュークリームにチョコペンやアーモンド等でトナカイの顔を描きました。「かわいくできたから食べるのがもったいない」と話される方も。クリスマスソングを聴きながらおいしくいただきました。



麻機園デイサービス 生活相談員 望月昭子



こんな時だからこそ地域へ貢献 出張さくらカフェ



新型コロナウイルス感染症の影響で様々な地域活動は中止されています。

東桜会の地域貢献活動でもある高齢者の居場所「さくらカフェ」も昨年からお休みしています。そんな中、10月と11月には、麻機園の機能訓練指導員を伴って近くの公園へ出かけ「出張さくらカフェ」を開催しました。

外出の機会や身体を動かす機会が少なくなった地域の高齢者の方にお声がけて公園に集まって頂き、体温測定や手指消毒の後に、芝生の広場に間隔を空けた椅子に座って介護予防の体操や、頭と手足を使った運動を行いました。その後は初めての試みで福祉用具として利用できるセニアカーの試乗会を行いました。まだまだ要支援にもならない人たちですが、「マイカーの後はこれかな！」などと盛んに試乗を繰り返し、車を運転しない女性陣も簡単に運転できて「快適だわ」と好評でした。

民生委員や自治会関係者の皆様に協力を頂き、短い時間でしたが澄み切った青空の元、思いっきり手足を伸ばすことができ、皆さまの元気な笑顔を拝見できました。

新型コロナウイルスの感染症が一日も早く収束し、以前のように「さくらカフェ」が開けるようになることを願います。



麻機園 相談員 芦口益枝